



発行所 国鉄労働組合 盛岡地方本部  
発行者 齋藤 庄司  
編集者 沢田 光広  
TEL 019-622-5021  
メールアドレス numori@poem.ocn.ne.jp

2012.8.10  
第1448号

拡大キャッチコピー

「新しい仲間づくりを 皆の力で」  
「一緒に解消しませんか、 あなたの疑問。 加入ってます」

### 組織 支部 盛岡 対策 拡大

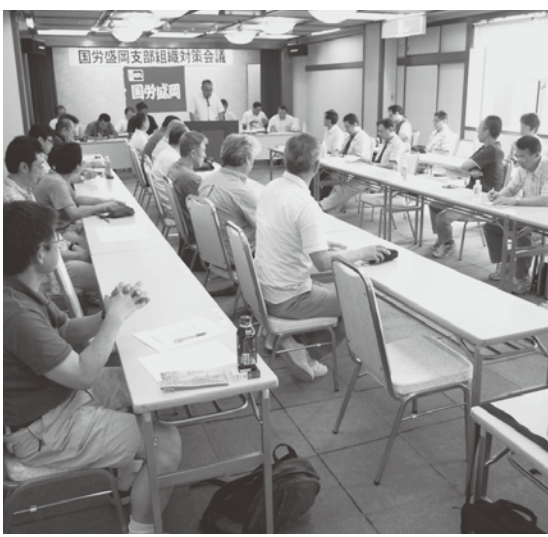
# 分会で議論し拡大の取り組みを

## ＝行動の前向きな変化も確認＝

盛岡支部は7月7日、岩手労働福祉会館(盛岡市)で「組織拡大対策会議」を開催した。今回の会議は、東日本本部より青年部2人と50歳未満の組合員を対象に48人が参加し、職場の状況報告と組織拡大運動について、それぞれの「できること」を話しあひ、組織強化に向けて団結の意思統一と一歩を踏み出した。

### 東日本本部青年部からの報告も

会議座長は佐々木支部委員 長が務め「国労の組織と財産を若い世代に引き継ごう」と挨拶、佐々木地本書記長から「青森駅連で国労復帰があつ



48人参加し意思統一を図った

た是非盛岡支部でも奮闘してほしい。働く者全員のために改善要求するのが国労運動の原点、一部の組合のために要求するのは間違っている」な

どの報告を受けました。 続いて「組織拡大の経験に学ぶ」に入り、木村東日本本部特別執行委員から「東日本青年部は少ないのが現状ですが、青年部運動を後退させないよう頑張っています。現在他労組を知らずに新規採用で長野2人、高崎で1人が加入彼らは自分から決断し入っています。長野の2人は車掌試験に合格し頑張っています。国労加入は自らの意思ですが、きっかけは我々です。加入理由は親切で仕事ができ、しっかりと教えてくれる。会社に対して筋が通った主張をし仲間意識が強いなどで、私も加入を決意しました。また加入しない理由はまったく組合に興味がない、第一組合にあれば良い。保険だ。試験に受かる組合費は保険料などと言っています。ですが何もしなければゼロです。組合の違いを見せ国労が一体となって彼ら

の意識を変え拡大に繋げて貰いたいと思います。次に盛岡東日本青年部書記長からは「社会人の第一歩を進もうとした時に初めて労働組合に直接関係しました。残念ながらその組合は国労ではありませんでした。自宅へ菓子折りを持った労組役員がやってきて「会社で一番規模の大きい組合」「皆入っています」「入っていると試験に合格する」などと、執拗に加入を進めましたがその時は断りました。しかし新人研修中に全員集められて加入届けを書かされた事は悔しい思い出です。組合

### 当面の主な日程

- ▽8月19日(八戸) 支部・地区協・分会代表者会議
- ▽8月23日(盛岡) 第11回地方本部執行委員会
- ▽9月1・2日(盛岡) 第6回地方本部組織拡大対策会議
- ▽9月6・7日(盛岡) 第26回東日本本部定期大会
- ▽9月22日(盛岡) 第1回地方本部ボリング大会

- 第6回地方本部組織拡大対策会議
- ▽9月6・7日(盛岡) 第26回東日本本部定期大会
- ▽9月22日(盛岡) 第1回地方本部ボリング大会

エルダー組合員交流会  
2012年9月30日(日) 13時15分  
【盛岡支部組合員】 盛岡国労会館4階会議室  
【青森支部組合員】 青森国労会館2階会議室  
多くの組合員の参加を

## 櫻田正樹さん囲み

### 国労復帰加入歓迎会

#### ◆青森駅連合分会◆

梅雨も明け夏本番を迎えた7月28日、青森駅連合分会が「櫻田正樹さんの「復帰加入歓迎会」を青森市の北のまつりで開催しました。



国労復帰した櫻田さん(写真右下から2人目)

歓迎会には分会組合員をはじめ22人が参加し、櫻田さんの加入を祝いました。挨拶した高森分会長は「櫻田さんの決断に敬意を表し分会を挙げて歓迎します。櫻田さんの加入は国労の第一課題である組織拡大に繋がります。青森駅連合分会 高瀬貴弘

大に大きな力となる。これからも組合員の一人ひとりが組織拡大に全力で取り組もう」と歓迎の言葉と拡大への決意を述べました。

続いて、佐々木地本書記長と阿部青森支部委員長の歓迎挨拶があり、櫻田正樹さんから「色々な事情が重なりやむなく国労を離れ東労組に加入することになったが、どうしても東労組になじめず、いままだ1999年9月30日は日本国内で初めて事故被曝による死亡者を出した「東海村JOC臨界」事故が起きた日だ。JOCの核燃料加工施設内で核分裂連鎖反応が発生、20時間持続し、これにより至近距離で中性子を浴びた作業員3名中2名が死亡・重症1名・667名を被曝者とするという、皆さんの作業工程が引き起こした事故だ。2011年3月11日、福島第一原発が崩壊し放射能がばらまかれ、それまでの平穏な暮らしが瞬時に奪われた日である。国会事故調査はこの事故を「人災」と断罪し、活断層の存在が懸念される原発が指摘されているにも拘わらず大飯原発の2基を再稼働した。これだけの苦い経験が、原発再稼働反対・さよなら原発の声を日増しに大きくしている。当然だ。しかし政治は逆向きだ。「核の悲劇は単なる過去」として片付けよう」としているとし、片付けよう。そんな姿勢は同じ過ちを同じ手順で悲劇を拡大して再現するだけだ。そんな政治は断じて許してはならない(髭)

### 第81回定期全国大会・7月26～27日

## 歴史を積んだ力で多数派に

代議員・佐藤弘昭(北上駅連合分会)



私は、第81回全国大会の代議員として7月26日から2日間、参加してまいりました。(盛岡選出の代議員は6人)参加しての率直な感想は、先ず初めての事でありすべてが新鮮でありました。列車から伊東駅に降りて感じた事は、東北と違う夏の暑さがありましたし、南国の雰囲気そのものでした。

2日間を通して、経過で5人・方針で29人の代議員が発言をしました。共通の発言のひとつは、組織拡大、強化についてであり、議員として7月26日から2日間、参加してまいりました。

一方、歩み込んで国労にまいり、発生し、世論が組織された労働者などの枠を超え、個人個人が反発の声をあげて盛り上げていく。旅客、貨物会社共々ですが、合理化により事上がっていると言う事を発言

共通的な課題である事を改めて認識しました。私達に残された時間は、多くないのです。私多積極的に参加し

ていこうと思います。大会で感じた事は、全国から結集した国労の人達は皆真面目であると言う事が改めて分かりました。色々な考えがあるにも拘わらず、紳士的に議論し最後は一つの方針で一致し前を向いて頑張るといふ事でありました。正に歴史を積んだ国労だからだと思っております。この力があれば必ずや多数派を、形成し得ると確信し、簡単ですが大会参加の感想と致します。

1945年8月6日・9日は、原子力爆弾が日本に投下された日。一瞬のうちに広島で14万人・長崎では14万9千人といわれる人たちの命が奪われ、原爆後遺症の苦悩は今なお続いている。1954年3月1日、ビキニ環礁で行なわれた米軍の水素爆弾実験に巻き込まれた第5福竜丸が「死の灰」を浴びせられた日である。乗組員23人全員が被曝し、無線長の久保山愛吉さんは半年後に命を落とす。日本医師団は久保山さんの死因を「放射能症」と発表したが、米国は今も「放射線が直接の原因ではない」との見解のままである。1999年9月30日は日本国内で初めて事故被曝による死亡者を出した「東海村JOC臨界」事故が起きた日だ。JOCの核燃料加工施設内で核分裂連鎖反応が発生、20時間持続し、これにより至近距離で中性子を浴びた作業員3名中2名が死亡・重症1名・667名を被曝者とするという、皆さんの作業工程が引き起こした事故だ。2011年3月11日、福島第一原発が崩壊し放射能がばらまかれ、それまでの平穏な暮らしが瞬時に奪われた日である。国会事故調査はこの事故を「人災」と断罪し、活断層の存在が懸念される原発が指摘されているにも拘わらず大飯原発の2基を再稼働した。これだけの苦い経験が、原発再稼働反対・さよなら原発の声を日増しに大きくしている。当然だ。しかし政治は逆向きだ。「核の悲劇は単なる過去」として片付けよう」としているとし、片付けよう。そんな姿勢は同じ過ちを同じ手順で悲劇を拡大して再現するだけだ。そんな政治は断じて許してはならない(髭)

# さようなら原発と17万人が結集

## ＝7・17代々木公園トークやデモで訴え＝



〈国労関係者で記念撮影〉

この夏関東で初の猛暑日を記録した7月16日東京・代々木公園で開催された「さようなら原発・10万人集会」に参加してきました。熊谷市で37・

6度、都内でも33度となる中、脱原発を求め全国各地から団体・単産・個人等、子どもを含め17万人余(主催者発表)が結集し、会場に入りきれない程の大集会となりました。私達岩手県参加者90人(国労10人)は道路での参加となりました。

見渡せば中部・四国地方からの参加者も確認でき如何に原発事故が引き起こした放射性物質汚染問題が多くの国民にとって重大な危機となったのか改めて実感させられました。東京電力福島第1原発事故発生直後の政府による情報隠し・歪

曲・二転三転した事故説明が原子力行政への不信へとつながりました。呼びかけ人の大江健三郎氏のスピーチの中に「今の持続する志が大切」と訴えがります。ともすれば私たち日本人の中に熱しやすく、冷めやすい一面があることを危惧しての発言ではないでしょうか。

この集会の数カ月前から毎週金曜日、首相官邸前や東京電力会社前での市民抗議集会が続いています。一部マスコミは、官邸でも脱原発デモや抗議集会を「無視できない状況にある」と報じています。しかしながら関西電力・政府は夏場の消費電力が現行の火力・水力発電では確保できないとの試算と、安全性には問



夜遅く(?)まで続いた交流

7月21日・22日盛岡地方貨物協議会の団結キャンプが若木山麓の弘前弥生の森・いこいの広場で開催されました。「継続は力なり」を合言葉に

八戸・盛岡・青森の分会の持ち回りで開催され続け今回で18回目を数えることになりました。当日は天候にも恵まれ、組

合員と家族、来賓を含めて約30人が結集。開村式で高橋涼議長が一貨物職場から何としても組織拡大を勝ち取っていきましょう」と力強い挨拶を行いました。若い人を迎え入れるための団結キャンプは誰しもが願うところであります。その後、各分会の協力を得て調理に入りましたがメニューとして焼肉、焼きそば、焼き鳥、おでん、イカ焼き、カレー、イワナ・ヤマメの塩焼きなど多種にわたり、出来上がりが大変楽しみ(不安)でした。また今回も昨年に続き盛岡からそば打ち名人の池内博さんが参加して下さり、今回もそば打ちの体験が行われ、希望者は名人の指導の下、苦労して完成させましたが、

やはり名人のもの比べると太かったり切れたりしたものが多かったようです。しかし自分の打ったそばは「格別」ということで茹であがったそばはあつという間に完食となりました。重い道具を背負って駆けつけてくださった池内さんに本当に感謝しています。出来あがった料理に舌鼓を打ちながらの交流会では、話題が尽きることなく大いに盛り上がり、時間だけがあつという間に過ぎて行きました。また、奥様方のテーブルには料理と共にワインが10数本並べられていましたが、これも時間の経過とともに至て「カラ」となったようです。翌朝も快晴となり、大自然の中、爽やかな朝を迎えることができました。

組合員の高齢化が進む中、団結キャンプの継続を危ぶむ声も聞こえるところですが、たとえ形は違っても、団結を深める交流会は継続して行きたいものです。最後は高橋議長による団結カンパローで無事終了しました。

岩手県鉄道交通対策会議は、本年3月30日JR東日本から発表されたJR岩泉線運転再開断念を受け、鉄道対策会議として5月21日会議を開催した。会議で出席者から「県民の足を守る立場で鉄道の復旧を求めるべきだ」との発言があり、JRがバスでの代替輸送を考えているとの懸念から、国鉄時代に第2次廃止対象線

区に選ばれていたが、並行する国道340号が急カーブで幅員狭小のため車の行き違いや大型車の通行不可能などの理由で、廃線にならなかつた事から、改めて国道340号線を視察し、今後の取り組みに生かしてはどうかなどの発言を受け、7月11日鉄道対策会議議長の小西和子県議を先頭に地元の宮古地方労センタ1や岩泉線を守る住民の会からの参加と合わせ、16人がマイクバスに乗り込み宮古駅前を10時に出発し、岩泉まで2時間30分をかけて国道340号線の安全性について視察しました。

参加者から「今にも崖崩れになりそう。冬道は道がもつと狭くなる」などの感想が多く聞かれ、鉄道の復旧を印象付ける視察となりました。

盛岡運転区分会 伊藤 淳

## 第18回地方貨物協 団結キャンプ・弘前

# 組合員・家族30人の参加で交流

## 「継続は力」18回目のキャンプ

やほり名人のもの比べると太かったり切れたりしたものが多かったようです。しかし自分の打ったそばは「格別」ということで茹であがったそばはあつという間に完食となりました。重い道具を背負って駆けつけてくださった池内さんに本当に感謝しています。出来あがった料理に舌鼓を打ちながらの交流会では、話題が尽きることなく大いに盛り上がり、時間だけがあつという間に過ぎて行きました。また、奥様方のテーブルには料理と共にワインが10数本並べられていましたが、これも時間の経過とともに至て「カラ」となったようです。翌朝も快晴となり、大自然の中、爽やかな朝を迎えることができました。

## 55人の参加で 秋保温泉で交流

7月22・23日仙台市の秋保温泉「岩沼屋」において、2年ぶりに一泊開催となった東日本運協東北ブロック交流会が開催された。(秋田地本6人、仙台地本27人、盛岡地本20人、来賓2人、合計55人の参加)

な問題点が出て、リモートマスの廃止問題、駅業務委託の更なる推進等。私の勤務する大河原駅ではエレベーターの監視盤を休憩室に設置する提案をしようとしている。さらに駅の一人勤務問題は、中間駅のみならず主要駅においても時間帯により発生している。車掌職場では、40条予備問題、長時間乗務の解消などに向け取り組んできたが、慢性的な要員不足が解消

されていない。駅・車掌とも職場の労働条件改善、組織の強化拡大が急務となっている。最後は原発問題、会社は放射線の測定を一切行っていない。福島駅の西口の自治体のモニタリングポストは0.94μSv(マイクログロシーベルト)を下回らない状態が続いている。国労として線量測定を求めていく。2日間よろしく」と挨拶した。

盛岡運協事務局長 伊藤 大

## 10月期加入・増口案内 期末手当付加給付制度

〈掛金徴収〉  
・2012年10月から  
〈給付発生〉  
・2013年夏季手当減額分から  
〈期間率調査期間〉  
・2012年10月1日～  
2013年3月31日  
〈問い合わせ先〉地本互助会  
TEL (JR) 033-2276  
TEL (NTT) 019-652-4841

互助会の「期末手当付加給付制度」は、病気の欠勤で期末手当に期間率が適用となつて減額された組合員の生活保障をするための制度です。  
2002年の制度発足以来、現在275名の方が加入されており、  
また、今日まで病休休業等で84名の組合員の方が手当から減額され、この制度からお支払いし、組合員・家族への生活保障の手助けの一役を担うことができたかと思えます。  
是非、この機会に、もう一度身の回りを考え、本制度に加入されますようご案内と致します。  
今回の募集は、2012年10月期加入となります。  
掛金は、2012年10月から徴収し、給付発生は、来年度の夏季手当減額分からとなります。  
それ以降の加入時期は、

「互助会」及び「期末手当付加給付制度」の加入手続きは、9月15日まで分会担当者または、互助会事務局へ直接電話で加入の申込みをして下さい。

互助会の「期末手当付加給付制度」は、病気の欠勤で期末手当に期間率が適用となつて減額された組合員の生活保障をするための制度です。  
2002年の制度発足以来、現在275名の方が加入されており、  
また、今日まで病休休業等で84名の組合員の方が手当から減額され、この制度からお支払いし、組合員・家族への生活保障の手助けの一役を担うことができたかと思えます。  
是非、この機会に、もう一度身の回りを考え、本制度に加入されますようご案内と致します。  
今回の募集は、2012年10月期加入となります。  
掛金は、2012年10月から徴収し、給付発生は、来年度の夏季手当減額分からとなります。  
それ以降の加入時期は、

互助会の「期末手当付加給付制度」は、病気の欠勤で期末手当に期間率が適用となつて減額された組合員の生活保障をするための制度です。  
2002年の制度発足以来、現在275名の方が加入されており、  
また、今日まで病休休業等で84名の組合員の方が手当から減額され、この制度からお支払いし、組合員・家族への生活保障の手助けの一役を担うことができたかと思えます。  
是非、この機会に、もう一度身の回りを考え、本制度に加入されますようご案内と致します。  
今回の募集は、2012年10月期加入となります。  
掛金は、2012年10月から徴収し、給付発生は、来年度の夏季手当減額分からとなります。  
それ以降の加入時期は、

地本互助会だより  
万が一にそなえよう  
自分と家族のために  
期末手当付加給付制度